

環境王国「いわて」を担う
いわて第2クリーンセンター

環境活動レポート 2013

対象期間 2012年4月1日～2013年3月31日



いわて県北クリーン株式会社

代表取締役 松島 義治

発行日 2013年 6月 30日

もくじ

もくじ・会社概要	・・・	P1	環境目標と実績	・・・	P8
事業計画の概要・施設概要	・・・	P2	取組みと評価	・・・	P8~12
環境方針	・・・	P2	緊急事態への準備及び対応	・・・	P12
事業活動概要			その他 環境コミュニケーション活動	・・・	P13
施設の特徴・主要許可品目	・・・	P3	環境関連法規等の遵守状況の確認	・・・	P14
環境に配慮した施設	・・・	P3~4	環境関連資格の所有者	・・・	P15
処理フロー	・・・	P5~6	代表者による全体の評価と 見直しの結果	・・・	P15
環境への取組み	・・・	P7			
中期計画と実績	・・・	P7			

会社概要

会社名	： いわて県北クリーン株式会社	従業員数	： 31名
	岩手県を発注者とするPFI事業のため設立した特別目的会社	事業面積	： 約36,000㎡
施設名	： いわて第2クリーンセンター	事業内容	： 産業廃棄物の中間処理 一般廃棄物の中間処理
所在地	： 〒028-6505 岩手県九戸郡九戸村大字江刺家第20地割48-34	環境管理責任者	： 藤原 茂敏
代表者	： 代表取締役 松島 義治	コミュニケーション部	： 千葉 明
設立	： 平成18年4月	TEL	0195-42-4085
運転開始	： 平成21年4月	FAX	0195-42-4550
資本金	： 4億9,000万円	Mail	info@iwate2cln.co.jp
売上高	： 7億5,500万円（平成24年度）	URL	http://www.iwate2cln.co.jp/index.html
受託量	： 23,168t（平成24年度）		
株主	： (株)タクマ、(株)タクマテクノス、西松建設(株)		

許可・認定等の種類	期限・日付	番号
産業廃棄物処分業	平成21年1月7日～平成26年1月6日	第00329146787号
特別管理産業廃棄物処分業	平成21年1月7日～平成26年1月6日	第00379146787号
一般廃棄物処理業	平成23年6月8日～平成27年6月7日	
廃棄物処理センター指定	平成18年10月30日	
エコアクション21認証・登録	平成22年2月15日～平成26年2月14日	0004632
岩手県基準適合産業廃棄物処理業者認定 中間処理 ★★	平成21年6月30日～平成25年6月30日	2011-024
いわて地球環境にやさしい事業所 ★★★★	平成24年8月30日～平成27年8月29日	24-4-9

事業計画の概要

本事業は、産業廃棄物の自県内処理を促進するとともに、循環型社会の形成を進めるため資源循環型モデル施設の全体構造のうち、公共関与による産業廃棄物処理施設として、先行して整備する焼却（溶融）施設の整備・運営をおこなうものであります。

本施設は、多種多様な廃棄物性状に対応可能であり確実な環境保全対策が施された処理システムを採用しております。燃え殻及び焼却処理に伴い発生するばいじんは、最終処分場へ搬入します。

焼却溶融処理により発生するばいじんは、可能な限り山元還元（有価金属として再利用）としての再資源化と溶融スラグは有価物として再資源化を図ります。

施設概要

施設名称：いわて第2クリーンセンター

設置規模：ロータリーキルン&ストーカ炉 87.9t/日×1基
燃料式表面溶融炉 13t/日×1基

ボイラ型式：三胴式廃熱ボイラ

最高使用圧力：3.30 MPa

常用使用圧力：2.90 MPa

蒸気温度：241℃

最大蒸発量：10.2 t/h

タービン形式：復水タービン

発電出力：840kWh

排ガス管理値

種類	法規制値	管理値
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	1.0	0.1
SO _x (ppm 以下)	3,761 (K 値 17.5)	50 (K 値 0.25)
NO _x (ppm 以下)	250	100
塩化水素 (ppm 以下)	430	80
ばいじん (g/m ³ N 以下)	0.08	0.02

環境方針

《基本理念》

いわて県北クリーン株式会社は、積極的に熱利用を行い、廃棄物の未利用エネルギーを効率的に利用することでCO₂を削減し、地球温暖化の防止や循環型社会の形成に貢献します。そのためにエコアクション 21 のシステムを導入し環境活動を展開します。

《行動指針》

1. 環境にやさしい事業運営に努めると共に、地域社会に貢献する企業をめざし活動に取り組みます。
2. 事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理項目として取り組みます。
 - (1) 二酸化炭素の排出量削減に努めます。
 - (2) 廃棄物の削減及びリサイクルに努めます。
 - (3) 使用する水の抑制に努めます。
3. 事業活動に関連した環境関連法規を遵守します。
4. 地域との連携を密にし、環境保全活動に積極的に参加します。
5. 環境方針は社内に掲示し、教育及び会議を通じ社員に理解を深め、積極的に取り組みます。

平成 22 年 11 月 19 日 制定
いわて第2クリーンセンター
いわて県北クリーン株式会社
代表取締役 **松島 義浩**

施設の特徴

多種多様な廃棄物の適正処理

◎ 様々な廃棄物(特管物を含む)を適正に処理します。焼却炉は 800℃以上の高温で、熔融炉は 1300℃以上の高温で完全燃焼、無害化します。

省エネ・資源リサイクルの促進

◎ 焼却設備からの廃熱を利用して、蒸気タービンにより発電をする他、熔融炉の燃焼空気や煙突から出る白煙の低減のため排ガスを加熱します。

◎ 熔融スラグは販売し、路盤材、建設資材等に利用します。

◎ 焼却灰および熔融飛灰は精錬会社に搬送し、鉱物資材として金属を回収します。

周辺環境への配慮

◎ 排ガスは環境にやさしい管理値にて地域環境を保全します。

◎ プラント排水、生活排水は所内で再利用します。

主要許可品目

◎産業廃棄物

廃プラスチック類	繊維くず
廃油	汚泥
廃酸	動植物性残渣
廃アルカリ	動物系固形不要物
木くず	ゴムくず
紙くず	

◎特別管理産業廃棄物

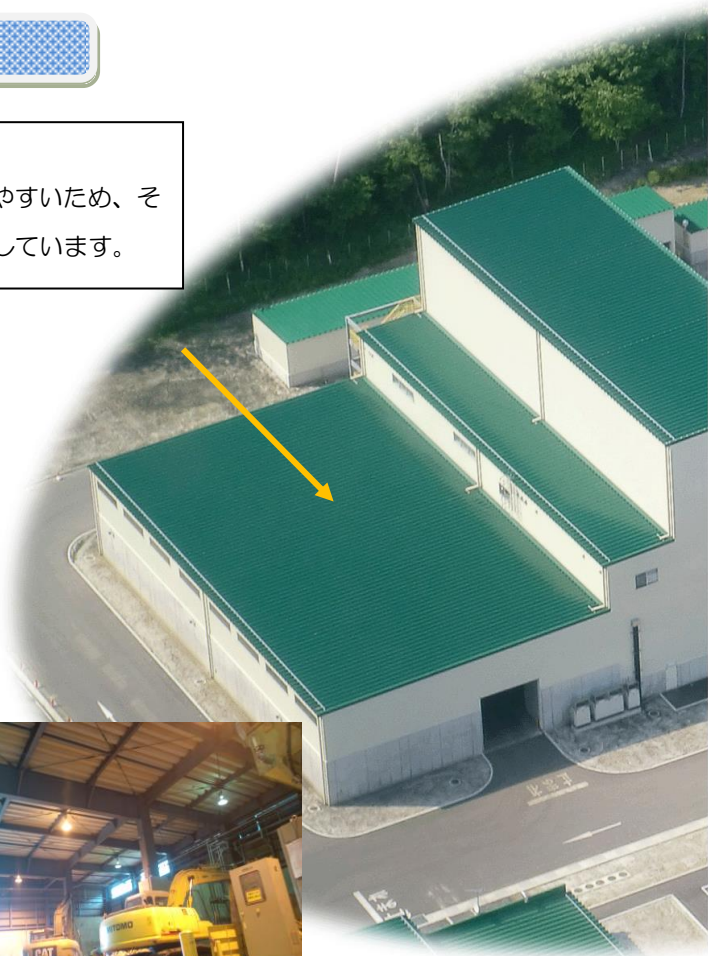
廃油(特管)	汚泥(特管)
廃酸(特管)	感染性廃棄物(特管)
廃アルカリ(特管)	

◎一般廃棄物

環境に配慮した施設

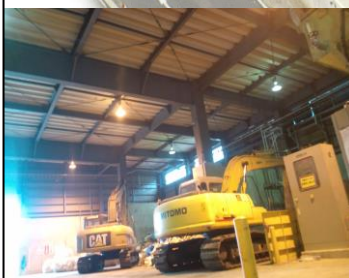
◎ プラットホーム

固形物の荷降ろしは臭いや粉じんが発生しやすいため、その対策として大型の建屋内で荷降ろし作業をしています。



◎ 重機による前処理作業

大型の前処理破砕機による破砕作業は、建屋内で行うことで、騒音・粉じんの飛散を防止します。また、建屋内の空気を燃焼に利用することで臭いの外部への漏えいを防止しています。



◎ 廃熱ボイラ



廃棄物の焼却に伴い発生した熱を廃熱ボイラで回収します。その熱を利用して発電や煙突から排気される排ガスの白煙低減を行っています。

◎ 蒸気タービン

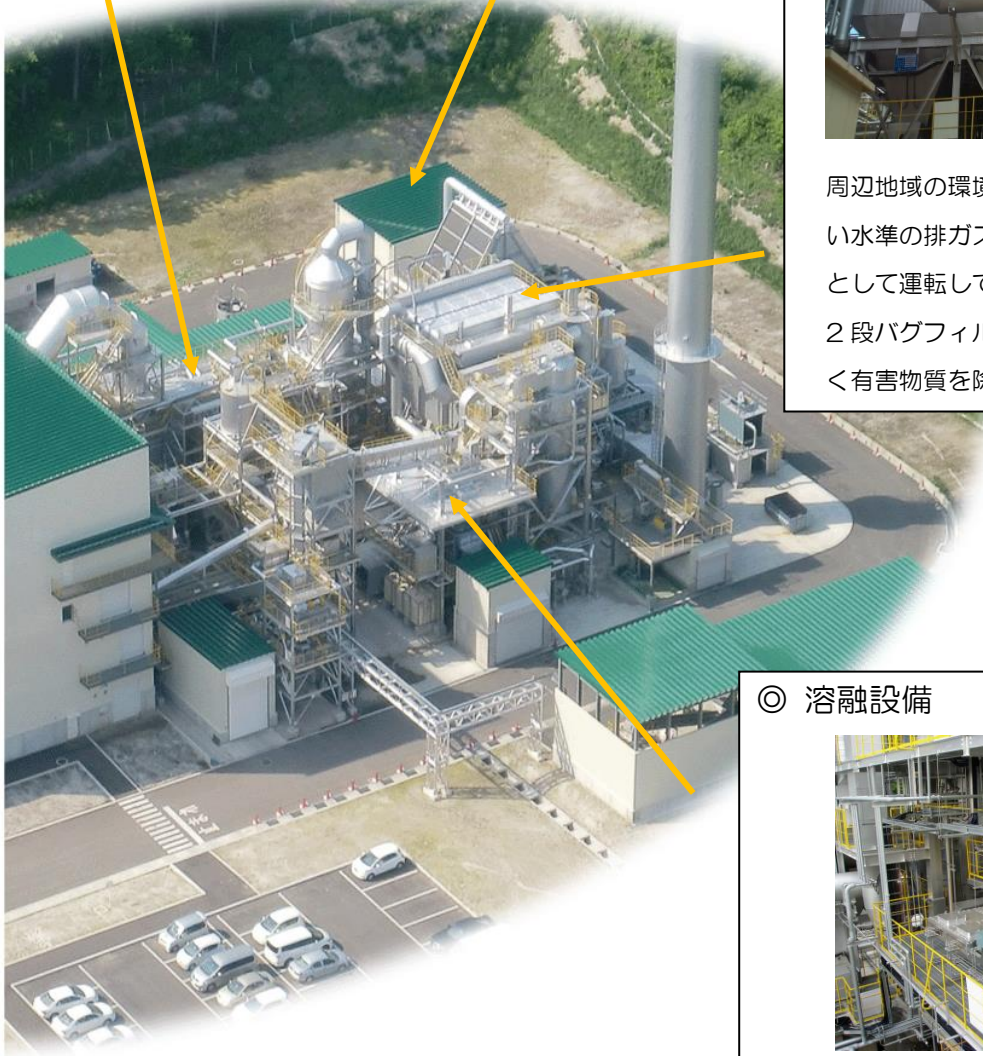
廃熱ボイラで発生した蒸気を、蒸気タービンへ送気し、発電することで、化石燃料の消費量を削減し、地球温暖化の防止に貢献しています。



◎ 2段バグフィルタ



周辺地域の環境へ配慮し、法規制値より厳しい水準の排ガス基準値を自主管理(協定)値として運転しています。特に直列につないだ2段バグフィルタを採用することで、効率よく有害物質を除去しています。

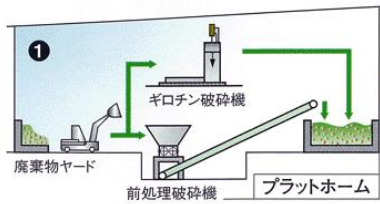


◎ 溶融設備

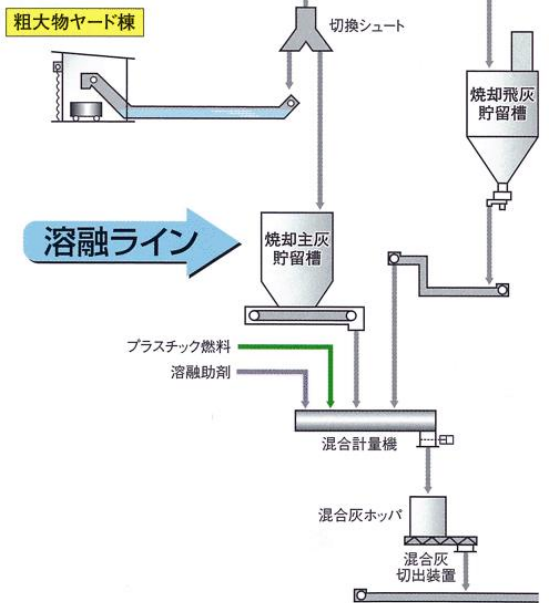
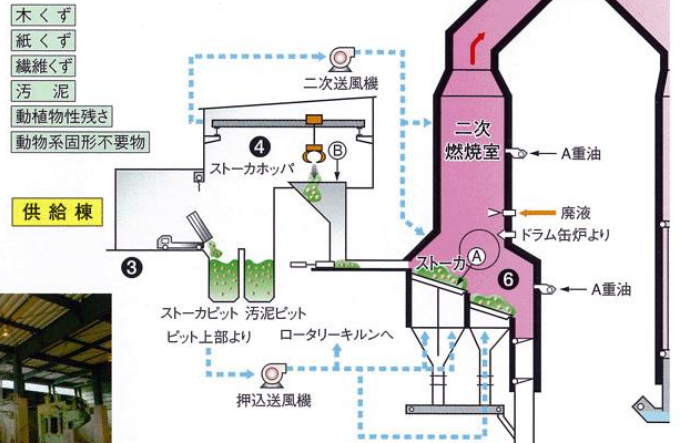
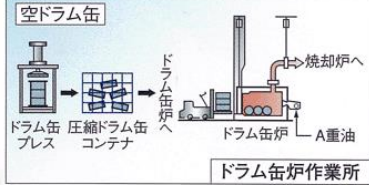
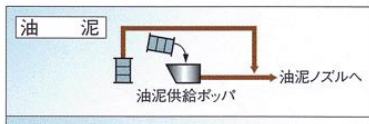
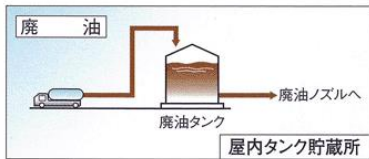
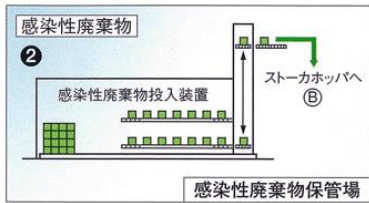
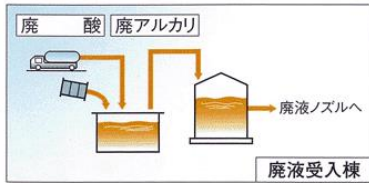
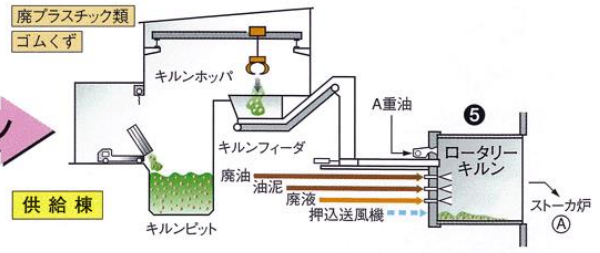


焼却灰の最終処分量の減量と灰の資源化を目的に灰の溶融設備を装備しています。

処理フロー



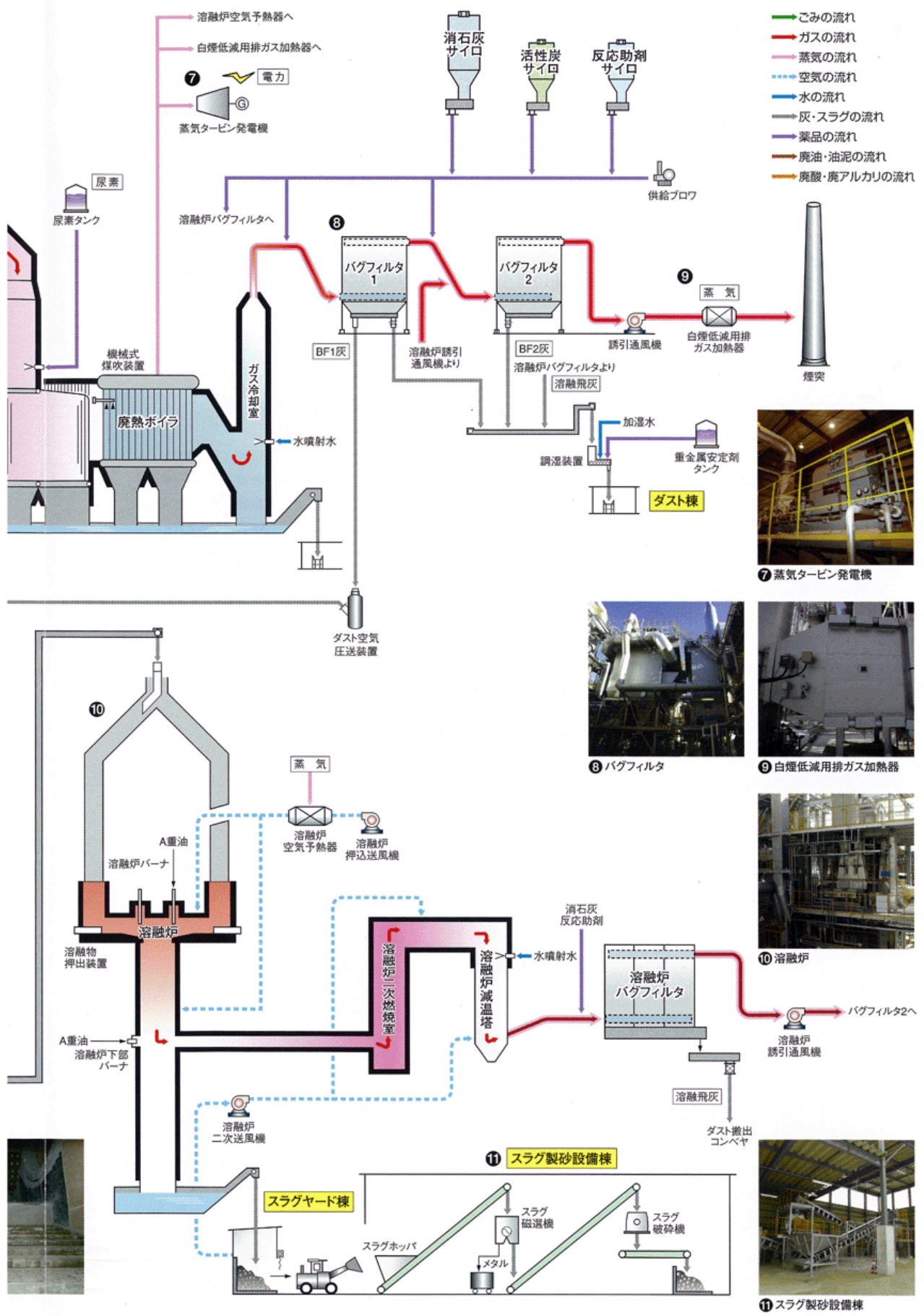
焼却ライン



いわて第2クリーンセンターの役割

- ① 特別管理産業廃棄物を中心とする 県内処理の促進
- ② 循環型地域社会の形成
- ③ 岩手県・青森県境不法投棄物の処理
- ④ 地域振興への貢献





7 蒸気タービン発電機



8 バグフィルタ



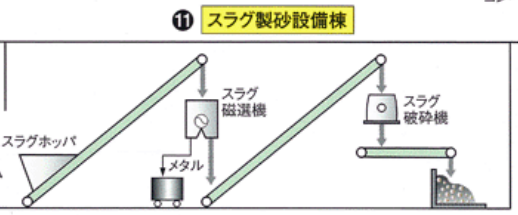
9 白煙低減用排ガス加熱器



10 溶融炉



スラグヤード棟



11 スラグ製砂設備棟

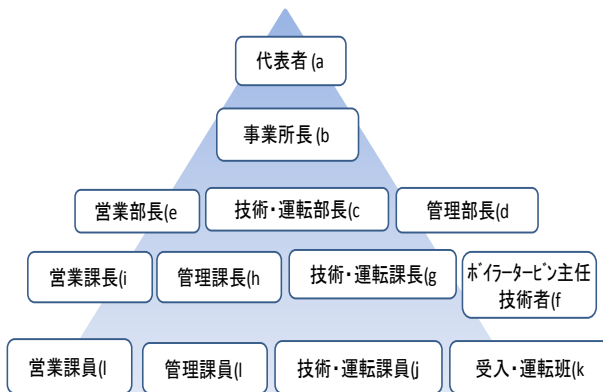


11 スラグ製砂設備棟

※ 現在は溶融炉で処理しなければならない廃棄物が搬入されていないため、溶融炉を稼働していません。

環境への取組み

廃棄物の中間処理業を通じ循環型社会の構築に貢献するべく、EA21の環境経営システムを取り入れ、平成22年2月15日に認証・登録しました。対象活動範囲は、全社・全組織・全事業活動です。



	役割	担当者
a	代表者	代表取締役
b	環境管理責任者	事業所長
c	部門責任者	技術・運転部長
d	部門責任者	管理部長
e	コミュニケーション窓口	営業部長
fgikl	課員、班長及び班員	課員、班長及び班員
hj	事務局	管理課長、技術・運転課員

中期計画と実績

平成22年度から平成24年度の中期計画の実績値が確定しましたので、表にまとめました。開業して間もなくの数値を基に計画を立てたので、施策、改善を進めた結果、計画に対して一部を除き、大幅に良い結果となりました。

		22年度	23年度	24年度			22年度	23年度	24年度	
総エネルギー投入量	受電電力量 kWh/t	計画 ≤500.0	≤475.0	≤450.0	廃棄物最終処分量	消石灰使用量 kg/t	計画 ≤38.5	≤38.0	≤37.5	
		実績 81.6	61.3	22.8			実績 35.9	27.0	25.2	
	A重油使用量 L/t	計画 ≤40.0	≤35.0	≤30.0			計画 —	≤5%	≤20%	
		実績 4.01	3.10	1.14			実績 —	15.8%	2.6%	
総排水量	軽油使用量 L/t	計画 ≤2.0	≤1.8	≤1.6	総排水量	クロスシステムのため排水なし	計画 0	0	0	
		実績 1.74	1.77	1.83			実績 0	0	0	
水資源投入量	ガソリン使用量 L/t	計画 —	—	≤0.40	環境保全意識の向上	年2回の環境活動会議の開催	計画 2回	2回	2回	
		実績 —	—	0.42			実績 2回	2回	2回	
温室効果ガス排出量	上水使用量 m ³ /t	計画 ≤1.30	≤1.28	≤1.26			同上会議への全社員の出席率 %	計画 ≤70.0	≤70.0	≤70.0
		実績 0.83	0.63	0.74			実績 72.4%	78.1%	74.2%	
熱利用量	二酸化炭素 kg-CO ₂ /t	計画 ≤200	≤180	≤175	地域環境協力	グリーン購入率 %	計画 —	—	≤70.0	
		実績 57.4	44.0	19.9			実績 —	—	73.1%	
廃棄物搬入量	廃棄物発電量 kWh/t	計画 ≥236.2	≥238.5	≥240.9	地域環境協力	地域の清掃活動への参加	計画 1回	1回	1回	
		実績 157.1	119.2	150.4			実績 1回	1回	1回	
廃棄物搬入量 t/年	廃棄物搬入量 t/年	計画 ≥16,000	≥18,000	≥20,000		地域団体の環境関連活動への参加	計画 1回	1回	1回	
		実績 17,574	20,723	23,168		実績 1回	2回	1回		

・購入電力におけるCO₂算定は平成19年度東北電力の排出係数(H20.12.19公表)を使用(排出係数 0.000473 kg-CO₂/kWh)

次期中期計画として、平成24年度から平成26年度の3ヶ年の中期計画を策定しています。

基準年度は平成23年度実績です。

		24年度	25年度	26年度			24年度	25年度	26年度	
総エネルギー投入量	受電電力量 kWh/t	≤77.0	≤77.0	≤77.0	廃棄物最終処分量	消石灰使用量 kg/t	≤31.50	≤28.00	≤27.00	
		≤2.50	≤2.25	≤2.00			灰のリサイクル率 %	≥20.00	≥30.00	≥35.00
	A重油使用量 L/t	≤1.71	≤1.70	≤1.68		総排水量	クロスシステムのため排水なし	0	0	0
	軽油使用量 L/t	≤1.71	≤1.70	≤1.68				年2回の環境活動会議の開催	2回	2回
水資源投入量	ガソリン使用量 L/t	≤0.40	≤0.38	≤0.37	環境保全意識の向上	同上会議への全社員の出席率 %	≤70.0	≤70.0	≤70.0	
	上水使用量 m ³ /t	≤0.80	≤0.80	≤0.80			グリーン購入率 %	≤70.0	≤70.0	≤70.0
温室効果ガス排出量	二酸化炭素 kg-CO ₂ /t	≤43.8	≤43.5	≤43.0		地域環境協力	地域の清掃活動への参加	1回	1回	1回
	熱利用量	廃棄物発電量 kWh/t	≥147.0	≥148.0			≥150.0		地域団体の環境関連活動への参加	1回
廃棄物搬入量	廃棄物搬入量 t/年	≥22,500	≥23,300	≥27,000						

・購入電力におけるCO₂算定は平成19年度東北電力の排出係数(H20.12.19公表)を使用(排出係数 0.000473 kg-CO₂/kWh)

環境目標と実績

平成24年度は、焼却施設運転日目標320日/年に対して、318日/年運転という実績で、ほぼ100%の達成率となりました。適正かつ安定的に施設を稼働したことにより、項目毎に無駄を無くし、効率的に実績を上げることができました。次年度は、更なる達成率を上げるべく、施策検討と改善実施を進めていきたいと考えます。

環境目標と実績

		23年度 結果	24年度 目標	24年度 結果	判定	達成率			23年度 結果	24年度 目標	24年度 結果	判定	達成率
総エネルギー投入量	受電電力量 kWh/t	61.3	≦77.0	22.8	○	338%	廃棄物最終処分量	消石灰使用量 kg/t	27.0	≦31.5	25.2	○	125%
	A重油使用量 L/t	3.10	≦2.50	1.14	○	219%		灰のリサイクル率 %	15.8	≧20.0	2.6	X	13.2%
	軽油使用量 L/t	1.77	≦1.71	1.83	○	93.4%	総排水量	カーストシステムのため 排水なし	0	0	0	○	100%
	ガソリン使用量 L/t	—	≦0.40	0.42	○	95.2%		年2回の環境活動会 議の開催	2回	2回	2回	○	100%
水資源投入量	上水使用量 m ³ /t	0.63	≦0.80	0.74	○	108%	環境保全意識の向上	同上会議への全社員 の出席率 %	80.6	≦70.0	74.2	○	106%
温室効果ガス排出量	二酸化炭素 kg-CO ₂ /t	44.0	≦43.8	19.9	○	220%		グリーン購入率 %	—	≧70.0	73.1	○	104%
熱利用量	廃棄物発電量 kWh/t	119.2	≧147.0	150.4	○	102%	地域環境協力	地域の清掃活動への 参加	1回	1回	1回	○	100%
廃棄物搬入量	廃棄物搬入量 t/年	20,723	≧22,500	23,168	○	103%		地域団体の環境関連 活動への参加	2回	1回	1回	○	100%

- ・購入電力におけるCO₂算定は平成19年度東北電力の排出係数(H20.12.19公表)を使用(排出係数 0.000473 kg-CO₂/kWh)
- ・判定の基準は管理値±10%とする

取組みと評価

●受電電力量の削減

- ・具体的取組み

室温を夏季26℃冬季23℃に設定する

使用しない電気および空調は、こまめに消す

評価 ○
達成 338%

目標 ≦77.0kWh/t
結果 22.8kWh/t

誘引通風機のインバータ化により所内動力が減少し受電電力量を大幅に削減することができました。

焼却施設を安定的に稼働する事で蒸気タービン発電機の稼働率も向上しました。

●A重油使用量の削減

- ・具体的取組み

施設の効率的な運転を行う

評価 ○
達成 219%

目標 ≦2.50L/t
結果 1.14 L/t

投入廃棄物のカロリーを均一化した事で安定的に焼却を行い、A重油の使用量を削減することができました。

廃油、再生油を有効活用した事により、A重油の使用量を削減する事ができました。

●軽油使用量の削減

- ・ 具体的取組み

重機の不使用时のアイドリングストップ
運転時間の記録



廃棄物搬入量の増加に伴い、前処理作業時間が増加したため厳しい目標になったが、こまめにアイドリングストップを実施し、達成することができました。

●ガソリン使用量の削減

- ・ 具体的取組み

営業車のアイドリングストップ
運転時間の記録



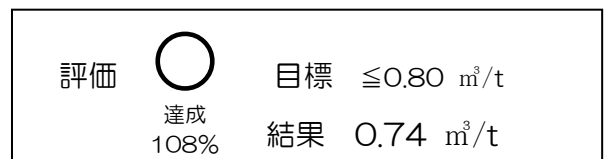
ガソリンの使用は営業車のみとなっていますが、低燃費車・ハイブリット車の導入と、エコ運転の実施により、達成する事ができました。

平成 24 年度から、ガソリン使用量を項目に追加したため、平成 24 年度のみの評価となっています。

●上水使用量の削減

- ・ 具体的取組み

プラントの使用水を把握し、制御する
節水表示をする



プラントで使用する水は、雨水を優先的に使用し、不足分は上水を使用するため、上水使用量は降水量に左右されます。

生活用水は節水表示や呼びかけ等により、節水意識が高まり、削減が進んでいると判断します。

●二酸化炭素排出量の削減

- ・ 具体的取組み

二酸化炭素の排出量把握



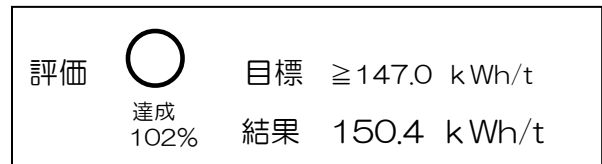
誘引通風機のインバータ化により、所内消費電力量が大幅に削減されたことで、受電電力量が減少し、目標を達成できました。

受電電力量や A 重油使用量・軽油使用量のエネルギー投入量によって二酸化炭素の排出量が左右されるため、それぞれの取組み状況を把握します。

●廃棄物発電量の増加

- ・ 具体的取組み

発電量を増加することで受電電力量を減らし、
二酸化炭素の排出量を減らす



投入廃棄物のカロリーを均一化して焼却を行い、安定的に発電することができました。

年間を通してタービン発電機のトラブルが少なく、連続運転ができたことで目標を達成できました。

●廃棄物搬入量の増加

- ・ 具体的取組み

県内全域への営業活動



沿岸地域の一日も早い復興のために災害廃棄物を受け入れ、順調に処理を行いました。

スポット案件が数件あり、受入量が増加しました。

●廃棄物最終処分量の削減

- ・ 具体的取組み

消石灰使用量の削減



排ガス中の有害物質を中和除去するために使用する消石灰は、廃棄物として搬出して最終処分します。排ガス公害値の常時監視と、消石灰吹込制御の自動化により、目標を達成することができました。

廃棄物の性状を均一化する事で、排ガス公害値の変動を最小限に抑え、今後も消石灰使用量の削減に努めます。

- ・ 具体的取組み

灰のリサイクル率の向上



燃えがらの一部を、灰リサイクルしていたが、搬入先の受入量が少なくなり未達となりました。

今後は、他方面から灰リサイクルの方法を検討し、灰リサイクル率の向上に努めます。

●環境保全意識の向上

- ・ 具体的取組み

2回/年の環境活動会議の開催



評価	○	目標	2回/年
	達成 100%	結果	2回/年

環境活動会議により環境負荷に関する意見交換を行うことで情報を共有しています。また随時、各担当者間でミーティングを実施し、状況把握・進捗状況を確認しています。

- ・ 具体的取組み

同上会議への全社員の出席率 70%以上

評価	○	目標	≥70.0 %
	達成 106%	結果	74.2 %

施設定期整備の期間を利用して、同上会議を開催しています。整備期間内のスケジュールに同上会議を入れることで業務内容を事前に調整する事ができ、会議への出席率が向上しています。

- ・ 具体的取組み

事務用品の積極的なグリーン購入

評価	○	目標	≥70.0 %
	達成 104%	結果	73.1 %

平成 24 年度からの取組みで購入できる事務用品はすべてグリーン購入し、目標を達成することができました。今後も、継続して購入して行きます。

●地域環境協力

- ・ 具体的取組み

地域の清掃活動への参加



評価	○	目標	1回/年
	達成 100%	結果	1回/年

九戸村主催の「クリーン九戸行動日」に開業以来毎年参加しており、平成 24 年度で 4 回目の参加となります。今年は社員 11 名が参加し、地域ごとに分担して、道路沿いのゴミ拾いを実施しました。

- 具体的取組み
地域団体主催の活動への参加



評価	○	目標	1回/年
	達成 100%	結果	1回/年

岩手県産業廃棄物協会 岩手県北支部主催で行われた、二戸管内の不法投棄パトロールに参加しました。

緊急事態への準備及び対応

当施設は防火対象施設ではありませんが、防災管理向上のため、自主的に防火管理者を設置し、消防計画を作成しています。定期的に、消火・通報・避難訓練や救急救命訓練を実施することで、事故・天災等で発生した火災の対応の方法や、被災者の救助の方法のほか、廃棄物や薬品等が流出し、環境に影響を及ぼす緊急事態を想定した訓練、教育も実施しています。



毎月の安全衛生会議で、ヒヤリハット体験を発表し、重大な災害や事故にならなかったが危ない思いをしたことに対して、重大な災害や事故を未然に防ぐための改善を行うとともに、全従業員に注意喚起を行い周知させています。

また、安全パトロールを定期的実施し、危険な作業場所・作業方法等があれば注意・是正し必要に応じて安全用具・保護具を支給したり、安全に作業ができる環境作りにより、重大な災害や事故を未然に防ぐ対策を行っています。

その他 環境コミュニケーション活動

●地元小学生の施設見学

村内には5つの小学校があり、うち3校が施設見学に訪れました。4年生の社会で学習するゴミ処理の流れについて、実際にどのようなゴミがあり、どのように焼却しているのかなどを、自分の目で見て・感じることで、ゴミ処理について学習してもらうことを目的として施設見学を実施しています。



●地域とはじめる環境報告会実施

工場・事業場における様々な環境に配慮した活動などの取組みを紹介し、参加企業とその周辺の住民とが意見交換することによって、環境保全に関する認識の垣根を取り除き、環境保全活動に関する情報を共有し、活動を展開するために開催したものです。

●事業報告会開催

県との事業契約ならびに、環境コミュニケーションの取組みとして、毎年事業報告会を開催しております。参加者は、近隣にお住まいの方、行政関係者、環境保全に取り組んでおられる県内排出事業者様などです。



●平成23年度から「いわて環境学習応援隊」参加

●平成23年度から「いわて環境報告書バンク」参加

●平成24年度 「いわて地球環境にやさしい事業所 ★★★★★」 認定

●他、県市町村、各種団体の見学会も積極的に行っております



●九戸村産業文化まつり出展

・環境報告、施設の説明、環境活動紹介をさせていただきました。また、小学校見学の写真等を掲示し、当社を紹介する良い機会となりました。



環境関連法規等の遵守状況の確認

環境関連法規の遵守状況は、平成25年3月末日に確認し、その結果は下表のとおりで法律違反、訴訟、環境に関する苦情はありませんでした。

法規則等の名称	法規制内容	結果
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物処分量 関連 一般廃棄物処理施設 設置関連 産業廃棄物/特別管理産業廃棄物処理業 産業廃棄物/特別管理産業廃棄物処理施設 設置関連 廃棄物処理センター 関連 委託契約 産業廃棄物多量排出者 関連 行政報告	適合
ダイオキシン類対策特別措置法	特定施設 設置/変更 関連 測定、結果報告（一回/年）	適合
大気汚染防止法	特定施設 設置/変更 関連 測定、記録（1回/2ヶ月）	適合
電気事業法	定期事業者検査（1回/2年） 保安規定（停電確認試験）（1回/年）	適合
消防法	設置許可、点検/報告（1回/年） 変電設備/蓄電池設備/発電設備 設置届 指定可燃物取扱届出 自動火災報知設備/消防用設備等 危険物関連/指定可燃物	適合
労働安全衛生法	ダイオキシン類の暴露防止対策（1回/6ヶ月） 天井クレーンの定期点検（1回/年）	適合
水道法	簡易専用水道 定期点検/定期清掃（各1回/年）	適合
計量法	定期検査（1回/2年）	適合
PRTR法	特定化学物質の排出量算定・報告・公表	適合
温対法	温室効果ガスの排出量算定・報告・公表	適合
県条例	施設運営状況説明報告	適合
事業契約	第2クリーンセンター（仮称）整備・運営事業 事業契約	適合
九戸村との協定	第2クリーンセンター（仮称）の整備及び運営に関する協定 公害防止協定	適合

環境関連資格の所有者

平成 25 年 3 月 31 日現在

産業廃棄物 焼却施設 技術管理士	4 名	危険物取扱者（乙種第 3 類）	1 名
一般廃棄物 焼却施設 技術管理士	3 名	危険物取扱者（乙種第 4 類）	13 名 (+1 名)
破砕リサイクル施設 技術管理士	2 名	危険物取扱者（乙種第 5 類）	2 名
防火管理者（甲種）	2 名 (+1 名)	危険物取扱者（乙種第 6 類）	1 名
環境社会検定（eco 検定）	2 名	第 2 種ボイラ・タービン主任技術者	1 名
危険物取扱者（乙種第 1 類）	1 名	1 級ボイラ技士	6 名 (+1 名)
危険物取扱者（乙種第 2 類）	1 名	2 級ボイラ技士	10 名 (+2 名)

（ ）内は平成 24 年度の資格取得者数を示します

代表者による全体の評価と見直しの結果

平成 24 年度の評価

今年度は地域の緊急の困り事に協力させて頂いた 1 年で、地域貢献に全力で務めた。

県内震災廃棄物（4,200t）スポット案件として、大量の地中埋設物等の処理を急ぐ廃棄物の受入量が、昨年比 12%増加した。そんな状況の中で達成度は大いに評価する。“地域あって当社がある”の気持ちで今後も地域との環境コミュニケーションに注力し、無事故・無災害（4年3ヶ月）を継続すること。

全体の見直しの指示

今年度は 1 項目が未達であったが、全体としておおむね良好な取組結果となった。特に A 重油・受電電力量は、連続運転と大電力設備の改造効果により大幅に目標を達成したことは大いに評価する。

来年度の取組みは、達成であったが微増となった軽油使用量、上水使用量に注力すること。灰のリサイクルは取組内容を再検討して目標達成に励むこと。

平成 24 年度 事業場内の植栽活動



チューリップ



アマ



スイセン



サクラソウ



ポタン



ツツジ

小学生見学時のスナップ写真

九戸村立戸田小学校・長興寺小学校・江刺家小学校



九戸村産業文化まつり出展時のスナップ写真





エコアクション21
認証・登録番号 0004632

いわて第2 クリーンセンター

いわて県北クリーン 株式会社

〒028-6505

岩手県九戸郡九戸村大字江刺家 20-48-34

TEL 0195-42-4085 FAX 0195-42-4550

URL : <http://www.iwate2cln.co.jp/index.html>